

Kodak
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Centimetres



古方便覽

附錄腹候圖
坤

9武+
663
止 2



武庫
663
卷 2止



古方便覽下冊

東洞吉益先生校閱

門人

河内 六角

重任

毅夫筆記

桃核承氣湯

桃仁分六

桂枝

甘草

芒硝

各五分

大黃一分 右五味以水一盞七分煮取六分内硝令消二分 少

腹急結上衝キチカクシテ血証アルモノヲ治ス急結トハ満ト少

シ異コトニシテ少腹ヨリ上へ堅クヒツハルヲ云ナリ○婦

人經水通ゼス少腹満シテ痛ニヨシ又月經通ゼサル一

一年或ハ二三年ニシテ漸クニ腹満スルヲ治ス○熱病

譫語セシゴシテ狂人ノ如ク或ハ下血シ少腹急結シテ痛ニヨ

シ○産後ニ血塊ケクワイアリ腹痛スルニヨシ又惡血ヲケウオ下リス心

下へサシコシ痛テ目眩スルニヨシ又芫歸膠艾湯ノ証

古方便覽下冊

ハ血オリツヨクシテ腹痛目眩スルニヨシ○打撲損傷
腫痛ニヨシ○死胎或ハ胞衣ノ下リザルニ功アリ○一
婦人脹滿ヲ患フ其腹漸々ニ大ニナリテ床ニ觸テ皮膚
腐爛シテ水滴ル試ニ六尺ノ帶ヲマハシテ見ルニ猶足
ラズ人皆必死ト云余此方ヲ與ヘテ六七十日ニシテ全
ク愈タリ凡脹滿ノ証腹狀平ニシテ青筋アルモノハ治
シ難ク其脹ルコト大ナリトモコンモリト凸ナカク起ナルモノ
ハ治ス○一婦人産後五六日心腹切痛シテ跳躍トビ旋轉シ
號呼ガウシテ止ズ三日ニ至テ氣息已ニ絶ナントシ汗出テ
雨ノ如ク面色土ノ如シ家人只其死ヲ待ノミ余即紫圓
ヲ以テ下スニ水瀉五六行疾一掃サウスルガ如シ又診スル

ニ少腹滿シテ腰脚攣急以テ動カスベカラズ余飲シム
ルニ此方ヲ以テ二十日ニシテ全愈○一婦人陰門腫痛
テ刻ツギガ如ク上衝頭痛日夜號泣ガウシテ愈ザルコト數日余診
スルニ腹鞭滿少腹急結ス此方ヲ用ルコト三劑ニシテ其
夜痛益甚シ曉アケ天ニ及テ忽然トシテ膿血ヲ出シ疾頓ニ
愈タリ○一婦人經水通ゼザルコト三月バカリ少腹鞭滿
シテ結痛刺サガ如ク叫號ガウ鄰ヲ動ス余此方ヲ與テ血ヲ下
シ痛頓ニ愈○一男子少腹堅急シテ痛上下ス氣上逆シ
テ食ヲ欲セズ愈ザルコト三月許此方ヲ與ルコト五十劑ニ
シテ全瘳

甘草湯 甘草二 右一味以水一盞二分煮取六分○病

急ニセリフメ。或ハ咽喉ツヨク痛ニヨシ。○東洞先生云。牙齒ノ強ク痛テ忍ビカタキニ用テ即効アリ。少シニテモ痛ノユルキニハ効ナシトカク甘艸ハ急迫スルヲ治スト心得ベシトナリ。

桔梗湯 桔梗一分 甘草二分 右二味以水一盞八分煮取六分。○甘草湯ノ證ニシテ咽中痛テ膿アリ。或ハ粘痰出ルモノヲ治ス。

排膿湯 甘草一分 桔梗一分 生姜四分 大棗一分 右四味以水一盞八分煮取六分。○膿血アル腫物癰ノ類膿ヲ催スルモノヲ治ス。腫毒ニハ伯州散ヲ兼用シ時々梅肉散ニテ下スベシ。

芍藥甘草湯 芍藥四分 甘草一分 右二味以水一盞二分煮取六分。○脚攣急甚シキモノヲ治ス。

甘遂半夏湯 甘遂一分 甘草一分 半夏一分 芍藥一分 右四味以水一盞半煮取四分。○弱内蜜四分。煮取六分。○下利快ヨシト雖_レ急迫シテ心下鞣滿スルモノヲ治ス。○積氣急ニフサガリイキダハシク痛ニヨシ。

芍藥甘草附子湯 芍藥 甘草各一分 附子一分 右三味以水二盞煮取六分。○芍藥甘草湯ノ證ニシテ惡寒スルモノヲ治ス。○婦人手足引ツリ痛ニ或ハ脚氣ノ証ニヨシ。○中風手足冷シビレ拘急スルニヨシ。○疝氣ニテ腰痛屈スルヲナシガタキニ平水丸或ハ控涎丹ヲ考ヘ

三

兼用スベシ○一男子年五十卒倒昏憤ス醒テ後身體僵直シテ手足運動スルヲアタハズ治セザルヲ十七八日許余其腹ヲ按セバ拘攣シテ痛ム乃此方ヲ與ヘ五十餘劑ニシテ諸症已ニ除ク又十棗湯ヲ以テコレヲ攻レバ下利數十行ニノ全愈○一男子忽右脚攣痛シテ屈伸スルヲアタハズ愈ザルヲ三十日余乃此方及平水丸ヲ飲シメ十劑ニ及バズシテ痛即已ム

甘麥大棗湯 甘草六分 小麥四分 大棗五分 右三味以水一盞二分煮取六分○急迫シテ狂ノ如悲傷スルモノヲ治ス○一婦人年二十八故ナクノ悲泣スルヲ止ズ余診スルニ腹皮攣急シテ少腹ニ塊アリ即此方及ビ消石大圓ヲ

作テアタヘ四五日ニシテ全ク愈○狂人滋サケンテ邪祟ノ如クナルニヨシ又小兒シキリニ啼テ止サルニヨシ

甘草粉蜜湯 甘草一分 粉一分 蜜四分 右三味以水九分

先煮甘草取六分去滓內二味攪令相煎如薄粥愚按ニ粉

粉ニ作り外臺ニ黍米粉ニ作レリ○涎ヲ吐シハクシタル 吐シ心痛發作時ア

ルモノヲ治ス○一婦人腹痛スルヲ三十日諸医コレヲ療スレド寸効ヲ奏セズ後ニハ吐シテ水藥口ニ入ルヲ得スサケテ 號シテ鄰ヲ動カス余乃此方ヲアタヘ三劑ニシテ痛退キ二十劑ニシテ全愈

生薑甘草湯 生薑一分 甘草 大棗各八分 人蔘六分 右四味以水一盞四分煮取六分○欬唾涎沫止ス咽燥之渴

レ心下痞鞭シテ強急ナルモノヲ治ス。控涎丹滾痰丸ヲ
擇テ兼用スベシ

甘草乾薑湯 甘草_二 干姜_一 右二味以水一盞二分

煮取六分_ラ○厥シテ煩躁吐逆或延唾多不渴モノヲ治ス○僧

天然曰甘草湯甘草乾薑湯甘草粉蜜湯三方治瘰癧及諸
腫諸瘡其疼痛劇者溼患處佳也

四逆湯 甘草_一 干姜_二 附子_{各九分} 右三味以水一盞

半煮取六分_ラ○四肢逆厥下利清穀或八下利惡寒或身體
疼痛スルモノヲ治ス○世医所謂中寒中湿及ヒ傷寒陰
症霍乱等ノ諸證ニ厥冷惡寒下利腹痛等アラハ皆此方
ヲ用フベシ又二年モ三年モ清穀ヲ下利スル_ヤ止ザル

一用テヨシ

四逆加入葶湯 甘草_一 干姜_一 附子_{七分} 人葶_{五分}

右四味以水一盞半煮取六分_ラ○下利惡寒手足厥冷心下
痞鞭スルモノヲ治ス

茯苓四逆湯 甘草_{四分} 乾姜_一 附子_{各三分} 茯苓_{一分}

人葶_{二分} 右五味以水一盞煮取六分_ラ○前方ノ証ニシテ
煩悸スルモノヲ治ス

附子粳米湯 附子_{三分} 半夏_{一分} 甘草_{二分} 大棗_{五分}

粳米_二 右五味以水一盞六分煮取六分_ラ○腹中雷鳴
臍ノマハリニテ痛_三或ハ水瀉或ハ嘔吐スルヲ治ス

薏苡附子散 薏苡仁_一 大附子_{各等分} 右二味為散服方

寸匕日三〇胸膈中ニテ惡寒スルモノヲ治ス

薏苡附子敗漿散

薏苡仁十分

附子二分

敗漿五分

右三

味杵為散取方寸匕以水一盞二分煮減半頓服之〇痺甚

癰ヲ発シ身甲錯腹皮急此ヲ按セハ濡ニ腫狀ノ如ク腹ニ

積聚ナキモノヲ治ス

大烏頭煎

烏頭四錢

右一味以水九分煮取三分去滓肉

蜜六分再煎取六分〇腹痛レ或臍傍絞痛発トキハ自汗出テ

手足厥冷スルモノヲ治ス久年ノ疝氣或ハ癩變ニ此方

ヲ用ヒテヨク徹スル時ハ水ヲ二三升モ吐出シ身ヒエ

アガリテ死狀ノ如クナルナリ能々其証ヲ詳ニシテ用

ユベシ〇一男子年七十疝瘕ヲ患ル一數年ナリ東洞先

生此方ヲ與テ水ヲ吐レ身厥冷シテ一時バカリモ氣絶

ス醒テ後ニ疾立トコロニ愈タリ〇一老人年七十許多

年疝氣ト云テ陰囊偏大ニテ大サ斗ノ如シ癸スル寸ハ

寒熱嘔逆シ身軀腰脚疼痛ス故ニ医者桂附ノ劑ヲ用レ

ハ大ニ困苦シテ五六十日モ愈ズ如此ナル一毎歲二三

度ヅ癸ス余其症ヲ診スルニ胸脇苦滿シテ拘急ス余

即小薤胡湯ヲアタヘテ七八日ニシテ愈ユ後癸スル毎

ニコレヲ用テ或ハ七八日或ハ十一二日ニシテ止終ニ

癸セザルニ至レリコレニ依テ知ルベシ病因病名ニ拘

泥スルハ粗工ノスル所ニシテ疾医ノ道ハ唯證候ヲ審

ニシテ方ヲ處スルニアリ方ヨク其症ニ合スレバ其疾

トシテ治セズト云フナシ

烏頭湯 麻黄 芍药 黄耆 甘草各六分

烏頭一分 葱三分 以蜜一分 右五味以水九分煮四味取三分去滓

内蜜煎中更煎和服○所謂痛風脚气疝气鹤膝风半身不遂等ノ症ニ平水丸七宝丸十枣湯紫圓ノ類ヲ擇ヒテ兼

用スヘン○微毒ノ骨痛ニ常ニ每夜芍药黄散ヲ用ヒ時

時梅肉散ニテ下シ後ニ七寶丸ヲ用フベシ

赤丸 茯苓 半夏各四分 烏頭二分 細辛一分 右四味末

之内真朱為色煉蜜丸如麻子大先食酒飲下三丸○痰ヲ

吐シ沫ヲ嘔シ腹痛或ハ惡寒身微厥スルモノヲ治ス

真武湯 茯苓 芍药 生姜各九分 朮六分 附子四分

右五味以水一盞六分煮取六分○心下悸レ頸痠身攣動レ

或ハ腹痛レ四肢沉重疼痛小便不利或ハ嘔レ或ハ下利レ

拘痛スルモノニヨレ○半身不遂手足引ツリフルフニ

平水丸控涎丹十枣湯ノ類ヲ考ヘテ兼用スベシ○少陰

病腹痛小便利セス四肢沉重疼痛自ラ下利スルニヨレ

○水腫小便不利スルニ平水丸ヲ用ユ○癰瘤ニハ滾痰

丸ヲ用ヒ紫圓ニテ下スベシ○一男子四十三歳下疳瘡

ヲ患テ後ニ左半身不遂手足顛掉レテ地ニ擲ント欲シ

且癰ヲ兼ヌ十日五日ニ必ス癢ス食スル寸ハ入ラレテ

代補セシメ藤上ニ仰臥スルヲ已ニ三年ナリト余診ス

ルニ少腹ヨリ心下ヘ至テ鞭滿シ心悸レテ拘攣ス乃此

方及三黃丸ヲ作テ時々備急圓ニテコレヲ攻ム服ス
ル一月ハカリニシテ癩亦發セズ又七寶丸ヲ作テ服
セシムル一月毎一次凡七次ニシテ全愈タリ余此ヨリ
後半身不遂ノ證ニアヘバ本茶ハ証ニ隨テ用ヒ必ズ七
寶丸ヲ作テアタヘ數効ヲ得タリ後ニ東洞先生ニ告ク
先生大ニ歎ジテ曰吾子ガ用方ニ察ナル始テ共ニ疾医
ノ術ヲ謂フベシト爾後先生モ是ヲ與ヘテ數奇効ヲ得
ラレタリ

附子湯

茯苓

芍藥

附子

朮

人蔘

右五味以水一盞六分煮取六分○身體痛手足寒小便不利
心下悸或ハ腹痛スルヲ治ス○痛風背痛腰痛疝氣脚痺

痿躄或ハ水腫ニ控涎丹平水丸紫圓或ハ七寶丸等ヲ擇
ニテ兼用スベシ○一書生腫滿ヲ病小便利セズ心下痞
鞭シ拘急シテ痛面目大ニ腫テ不食ス東洞先生此方及
ヒ三黃丸ヲ兼服セシムル一五七日ニシテ備急圓七分
ヲ以テコレヲ下シ諸症全愈○一僧年三十六余ニ診治
ヲ請テ曰貧道二十ノ前後淋疾ヲ患ル一二三年愈テ後
ニ諸証雜出スシカレヨリ後腰已下冷テ水雪中ニ在ガ
如ク盛夏トイヘ氏絮衣ヲ重テ其上ヲ覆ス發スル時毎
ニ心腹疝痛シテ手ヲツクルヲモ得ズ腰脊痛瘧レテ
及側スルヲ得ズ甚レキオハ息スルヲアタハズ又忽
忽トシテ必氣終夜席ヲ安ニセス大抵毎夜必ス發ス且

幼齡ヨリ痔漏アリ寒暄ニ遇毎ニ乃発ス初患テヨリ今
ニ至テ十四年ヲ經タリト余診スルニ心下悸シテ痞鞭
シ腹皮拘攣ス乃附子湯及ヒ平水丸ヲ飲シメ時々紫圓
ヲ以テコレヲ攻ム服スルノ半歲許ニシテ諸症全愈○
一婦人年五十有餘胸痺ヲ患フ飲食味ナク身軀羸弱ニ
シテ愈サルノ半歲許余診スルニ心下痞鞭心悸シ小便
少シ即人蔘湯及三黃丸ヲ作テ飲シメ服スルノ二十餘
日イマダ其効ヲ見ズ病者其速ナランノヲ欲シテ乃他
医ヲ名ブ医コレヲ視テ率爾ニ臍傍ニ灸ス忽心腹切痛
シテ下利數十行臭穢近ツクベカラズ殆ンド死ニ至ン
トス是ニ於テ復余ヲ名乃大承氣湯ヲ以テ下シテ五六

日ニシテ諸症頓ニ退テ飲食スルノ前日ニ倍ス居ルノ
七八日小便不利遍身洪腫シ心下痞鞭腹皮拘攣ス余又
附子湯及平水丸ヲ用テ服スルノ三十日ニシテ諸症全
愈○一男兒十歳脊梁曲テ偻僂ス兩脚攣急シテ起ラア
タハサルノ已ニ二年余此方紫圓ヲ作テ飲シメ兩月ニ
シテ全愈

天雄散 天雄四兩 龍骨三兩 朮八兩 桂枝六兩 右四味為

散酒服三匙日三服不知飡增之○失精ノ人小便利セ
ズ上逆シテ臍下動アリ惡寒スルモノヲ治ス

梔子鼓湯 梔子八分 鼓二枚 右二味以水一盞六分先煮
梔子取一盞去滓肉鼓煮取六分○心中懊懣或ハ煩熱シ

五十二

胸中塞クモノヲ治ス

梔子甘草豉湯 本方加甘草一錢餘依本方○前方ノ証ニシテ急道ナルモノヲ治ス

梔子生薑豉湯 本方加生薑二錢煎法同前方○梔子豉湯ノ証ニノ嘔スルモノヲ治ス

枳實梔子豉湯 枳實分六 梔子分四 豉分二 右三味以水一盞六分先煮二味取八分下豉煮取六分去滓服○梔子

豉湯ノ証ニシテ胸滿スルモノヲ治ス 梔子分九 枳實分半 大黃分二 豉分四 右四

味以水一盞八分先煮三味取一盞下豉煮取六分○前方ノ証ニシテ便閉スルモノヲ治ス

茵陳蒿湯 茵陳蒿一分 梔子分六 大黃分六 右三味以水

二盞先煮茵陳取一盞二分内二味取六分○一身發黃湯シテ水漿ヲ引寒熱不食心胸安カラズ小便利セサルモノヲ

治ス此方ニ紫圓備急圓ヲ兼用スベシ○一男子年三十有餘冬月旅行シ海邊ニ逗留シテ恣ニ魚肉ヲ喫シ又寒

氣ヲ侵シテ家ニ歸リ幾程ナク面目身躰浮腫シテ黃色ヲ發スルキツ橘子ノ色ノ如ク小便モ亦キツ如ク心胸

苦煩シ腹滿シテ飲食ス、マズ余乃此方ヲ與キツ時々紫圓ヲ以テコレヲ下シ十二三日ニシテ全愈○世ニ黃胖

病ト云テ黃色ヲ發シ心煩息タハレク腹滿シテ身タルクサツカク介甲白ク或ハ皺シヅミナドスルニ此方又ハ梔子厚朴湯

小莖胡湯ノ類ヲ撰用テ別ニ一方アリ鐵砂六 硫黃八

浮石二 蕨粉四 右四味為散每日以酒服二 錢

梔子厚朴湯 梔子四 厚朴一分 枳實一分 右三味以水

一盞四分煮取六分○心煩腹滿スルモノヲ治ス

梔子蘗皮湯 梔子一分 甘草一分 黃蘗一分 右三味以水

一盞六分煮取六分○身黃發熱大便變無モノヲ治ス

梔子乾薑湯 梔子一分 干姜一分 右二味以水一盞四

分煮取六分○下利欲微煩スルモノヲ治ス

大陷胸湯 大黃九 芒硝三 甘遂七厘 右三味以水一

盞八分煮大黃取六分内硝令消沸内甘遂末服○結胸若

心下痛按之石鞭或至少腹鞭滿スルモノヲ治ス○胸高

ク起リ或ハ背クマリ痲痺ノ狀ニナリ或ハ腹内陷下

シ濡ニシテ脊へ引ツリ脚細軟羸瘦シテ歩行ナラス手

臂モ遂ハサルニヨシ○痲ヲ發シ或ハ物ニ驚或ハ小兒

言語スルアタハサル類ニ用フベシ然レ此方日々ハ

用ヒカタシ本藥ニハ小陷胸湯ナド用ヒ此方ニテ時々

下スベシ○傷寒大便セサル一五六日舌上燥テ渴レ日

晡所潮熱アリ心下ヨリ少腹ニ至テ鞭滿シテ痛近ツク

ベカラザルモノニヨシ○一男子年十六其三歳ノ時胸

ヲ撲テ胸凸背クマリテ十三四歳ニシテ寒熱ヲ病三

愈テ後腰脚痿弱ニシテ起居スルアタハス百治効ナ

シ○如此一凡三年ト余小陷胸湯ヲ作テ飲シメ三日五日

必ス大陷胸丸ヲ以テコレヲ攻ム百有餘劑ヲ用テ猶歩
行スルヲ得テ全愈

小陷胸湯 黃連四分 半夏二分 栝蔞實八分 右三味以水

一盞八分煮栝蔞取九分内二味煮取八分○胸滿シテフ
サガリ氣ムツカシク或ハ胸ヤケ或ハ腹鳴下利シ或ハ
食物ス、マス或ハ胸痛ヲ治ス三黃丸漆痰丸ヲ兼用ス
ベシ

栝蔞薤白白酒湯 栝蔞實五分 薤白二分 白酒二 右三

味同煮取六分○胸背痛或喘鳴欬唾スルニ控涎丹滾痰
丸ヲ兼用スベシ又病甚キモノニハ紫圓走馬湯備急圓
ノ類ヲ考ヘ兼用スベシ 白酒千金方ニ白散藥ニ作ル酢
ナリ漿ノ下蜀漆散ノ下ニ出ス

栝蔞薤白白半夏湯 栝蔞實三分 薤白九分 半夏一分

白酒一盞 右四味同煎取六分○前証甚シテ心痛背微或嘔元
モノヲ治ス

瓜蒂散 瓜蒂五分 赤小豆五分 右二味為散已合治之先

以香豉二錢用熱湯七分煮作稀糜去滓取汁和散温頓服

○心胸温々トシテ吐シ或煩滿饑テ不能食ヲ治ス○病胸
中ニ在テ痞鞭シテ痛或ハ痰喘氣急或ハ發狂或ハ癲癩
ヲ治ス○一男子年三十暴ニ發狂ス余先飲シムルニ大
承氣湯ヲ以テ下ス七日ニ數十行七八日ノ後此方ヲ作
テ與ヘ膠涎ヲ吐スルヲ數升如此ナルモノ凡三次ニシ
テ病全愈○一男子平素目赤夕眶腫痛ムヲ數年ナリ諸

藥効アルナレ余乃此方ヲ作テ與ヘ大ニ痰涎ヲ吐ス
用ル_レニ三次ニシテ全愈○一士人淋病ヲ患ル_レ十二
三年後膿血淋瀝痛刺ガ如ク日夜號泣ス余ヲ招テ曰我
疾痛楚スル_レ言ベカラズ先生為ニ治ヲ施シ至ハニニ
ハ瞑眩懼ル_レニ足ラズ若治セズンバ速ニ死センモ亦
幸トスト余乃此方七分ヲ飲シメ大ニ吐瀉シテ痛頓ニ
退ク又服スル_レ三次ニシテ病失スル如シ

文蛤散 文蛤_十 右一味為散以沸湯和_二錢服_一○渴ス
ルモノヲ治ス

大半夏湯 半夏_二錢_三 人蔘_分 蜜_錢 右三味以水三盞
弱煮取六分○嘔吐心下痞鞭スルモノヲ治ス○膈噎反

胃ニヨレ滾痰丸ヲ用ヒ時々紫圓或ハ桔梗白散ヲ與フ

小半夏湯 半夏_二錢_三 生姜_{一分} 右二味以水二盞八分煮
取六分○吐シテ渴セザルモノヲ治ス○一切ノ病ニ水
ヲ吐シ食ヲ嘔シ藥ヲ受ザルニ先此方ヲ用フベシ嘔ヲ
治シテ後証ニ隨テ方ヲ處スヘシ

生薑半夏湯 半夏_三 生姜汁 右以水一盞二分煮半
夏取八分内姜汁四分煮取六分○喘ニ似テ喘セズ嘔ニ
似テ嘔セズ噦ニ似テ噦セズ心中憤々然トシテイカン
トモスル_レナキモノヲ治ス

小半夏加茯苓湯 半夏_二錢_三 生姜_{一分} 茯苓_{六分} 右三味

以水二盞八分煮取六分○嘔吐レテ心下痞レ眩悸ス
ルモノヲ治ス

半夏苦酒湯 半夏五分 雞子一枚去黃存白 右二味内半

夏於雞子殼中安火上令三沸去滓少々含嚥之○咽中ニ
瘡ヲ生シ言語スルノアタハズ声出サルニヨシ○痰涎
フサガリ舌カレタルニヨシ又咽痛腫フサガルニヨシ

○苦酒ハ醋ナリ半夏一枚 雞卵一枚 醋一盞 ヲ以テサツ

ト煎シ用フベシ此症ノ甚シキニハ白散走馬湯或ハ吹
茶フスベシ

半夏厚朴湯 厚朴三分 半夏一枚 茯苓四分 生姜五分

乾薑一分 右四味以水一盞煮取六分○咽中ニ痰涎

ル如クビラクトカ、ルモノアリ或ハ痛或ハ痰フサガ
リ或ハ風邪ニテ咽痛ニヨシ○梅核氣トテ咽ヘ核ノゴ
トキモノ出テ吐圧出ズ吞圧下ラズ久レク愈ザルニ滾
痰丸ヲ兼用シテ時々紫圓或ハ梅肉散ニテ下スベシ

半夏乾薑散 半夏 乾薑各等分 右二味為散取方寸匕

以水一盞三分煮取六分○乾嘔吐逆涎沫ヲ出スモノヲ
治ス

干薑入棗半夏丸 干姜 人棗各一分 半夏二枚 右三味

為散以生姜汁糊為丸如梧子服十丸○嘔吐不止心下痞
スルモノヲ治ス

半夏瀉心湯 半夏一分 黃連一分 黃芩 干姜

人蔘 大棗 甘草各四分 右七味以水二盞煮取一盞二分去滓再煮取六分○心下痞鞭或ハ心煩水ヲ吐シ腹鳴或ハ反胃或ハ食物咽ニツマリ沫ヲ吐ク證ニ滾痰丸紫圓ヲ兼用スベシ○平生腹鳴甚シク胸ヤケ乾嘔シテ下利スルニヨシ○暑ニ中リ寒ニ中リテ下利シ或ハ痰涎甚キニヨシ○諸病嘔吐ノ証アラバ先嘔ヲ治スベシ嘔サヘ止ハ熱アルハ熱去リ惡寒アルハ惡寒去リ頭痛或ハ腹痛ノ類モ自ラ治スルナリ○一男子年五十嘔吐ヲ患フ三年心煩シテ安カラズ大便秘閉シ或ハ時々下利シ小便白濁十日五日必發ス余診スルニ心下痞鞭腸鳴テ雷声ノ如シ此方及ヒ三黄丸ヲ用ヒ時々控涎丹ニ

テ下ス出入スルコト一年全治○一男子嘔吐シテ下利シ四肢逆厥心中煩燥シテ氣息已ニ絶ントス一医霍乱ト云テ附子理中湯ヲ用テ吐シテ受ズ煩燥スルコト益甚シ余即此方ヲ飲シ又三服ニシテ全愈

生薑瀉心湯 生薑六分 半夏九分 黃連 乾姜各一分

黃芩 人蔘 甘草 大棗各四分 右八味以水二盞

煮取一盞二分去滓再煮取六分○半夏瀉心湯ノ證ニシ

テ嘔スルモノヲ治ス連甘草瀉心湯ハ甘草六分 半夏九分 黃芩一分 人蔘一分 大棗四分 右

七味煎法如前シテ用フ是ハ半夏瀉心湯ノ証ニシテ心煩安テ得ザル者ヲ治ス

吳茱萸湯 吳茱萸一分 人蔘 大棗各四分 生薑九分 右

四味以水二盞一分煮取六分○胸滿シテ心下痞鞭嘔吐

セント欲シ。上衝スルモノヲ治ス

厚朴生薑半夏甘草人蔘湯 厚朴 生薑一分

半夏九分 甘草三分 人蔘一分 右五味以水二盞煮取六分

○胸腹滿シテ嘔スルモノヲ治ス

黃連湯 黃連 乾姜 桂枝

大棗各四分 人蔘三分 半夏九分 右七味以水二盞煮取一盞

二分去滓再煮取六分○心煩心痞レテ腹中痛嘔吐セント欲シ。上衝スルモノヲ治ス

乾薑黃連黃芩人蔘湯 乾姜 黃連 黃芩

人蔘各七分 右四味以水一盞八分煮取六分○心煩心下痞。嘔吐下スルモノヲ治ス

大建中湯 蜀椒四分 干姜一分 人蔘八分 膠飴二分 右四

味以水一盞六分煮取六分去滓內飴再煮令消○腹寒テ

痛嘔シテ食スルヲアタハズ腹皮起テ頭足アルガ如ク

ナルモノヲ治ス頭足トハ腹皮起ノ状也 ○一男子年七十胸滿

シテ心下痛發作時アリ或ハ蛇蟲ヲ吐シテ食スルヲア

タハズ伏枕スルヲ三月許余此方ヲ與ヘテ病即愈○一

婦人年三十二飲食スハマス日ニ羸瘦シ腹痛ヲ患ルヲ

三月許諸医血積トナシテコレヲ治ス或ハ瘀血ヲ下ス

茶ヲ用テ病イヨク甚レ余診スルニ臍傍ニ塊物アリテ

手足ヲヒロゲタル如クニシテ心下及ヒ脇肋ヘ拘攣ス

重クコレヲ按セバ痛忍フベカラス輕クコレヲ按セバ

サモナシ乃此方ヲ作テ與ヘテ病時ニ瀉シテ全愈

黃連阿膠湯 黃連一分 黃芩三分 芍藥六分 雞子黃一枚之三分

阿膠九分 右五味以水一盞半先煮三味取六分去滓內膠

烱盡小冷內雞子黃攪令相得温服○心中煩急拘急シテ卧

ルヲ得ザルモノヲ治ス

黃芩湯 黃芩 大棗各九分 甘草 芍藥各六分 右四味

以水二盞煮取六分○心胸煩熱シテ下利拘急スルモノヲ治ス

○小兒ノ痲証ニテ下利スルニヨレ○時氣ニアタリ或

ハ膿血シブリハフニヨレ○一匠八年三十五下利スル

一三年諸藥効ナシ余診スルニ腹皮拘急シテ引弦ヲ循

ガ如シ乃此方ヲ與フ五十劑ニシテ全愈

黃芩加半夏生薑湯 黃芩 大棗各六分 甘草

芍藥各四分 半夏一分 生薑六分 右六味以水二盞煮取六分

○本方ノ証ニシテ嘔逆スルニヨレ○腹鳴痛下利スル

ニヨレ

六物黃芩湯 黃芩 人蔘 干姜各四分 桂枝一分

大棗四分 半夏一分 右六味以水一盞四分煮取六分○心

胸煩熱乾嘔下利心下痞鞭スルモノヲ治ス

三物黃芩湯 黃芩四分 苦參八分 乾地黄一分 右三味以

水一盞八分煮取六分○心胸苦煩スルモノヲ治ス

白頭翁湯 白頭翁五分 黃連 黃檗 秦皮各七分

右四味以水二盞煮取六分○熱利下重心煩或水ヲ飲欲

五苓散

ルヲ治ス○痢病久シク愈ザルニヨシ又久痢ニハ紫圓
ヲ一二分ツ、毎日兼用スベシ

白頭翁加甘草阿膠湯 白頭翁四分 黃連 黃檗

秦皮各六分 甘草 阿膠各四分 右六味以水一盞七分煮取

六分内膠令消○前方ノ証ニシテ血證アリ急迫ニヨシ

木防己湯 木防己七分半 石膏一分半 桂枝五分 人蔘一分

右四味以水一盞八分煮取六分○心下痞鞭喘滿或渴ス

ルヲ治ス○腫滿小便利セズ心下フサガリ息イキダハシク

煩渴スルニ平水丸控涎丹ヲ考へ兼用スベシ

木防己去石膏加茯苓朮湯 木防己六分 桂枝四分

人蔘一分 芒硝一分 茯苓八分 右五味以水一盞八分煮取

六分内硝令消○前方ノ證シテ痞堅不渴不喘モノヲ治ス

防己茯苓湯 防己 黃耆 桂枝各四分 茯苓九分

甘草三分 右五味以水一盞八分煮取六分○四肢腫肉脛

筋惕シテ水氣皮膚ニアリテ上衝スルモノヲ治ス○水

氣皮膚ニアリト云ハ皮ウスクギラクトシテ水ノ洩出モレ

ルヤウニ見エ又水ガジメクト出或ハ鍼ハリヲスレバ水ノ

走出ルモアリ都テ水腫ニ一處破ヤレテ水ノ流出ルハ惡証

ト知ルベシ

防己黃耆湯 防己六分 甘草三分 黃耆七分半 朮

大棗 生姜各四分半 右六味以水一盞八分煮取六分○水

病身重クシテ汗出テ惡風シ小便利セザルモノヲ治ス

○一男子年六十餘平生身微腫シ皮膚黄色ニシテ時々
面目浮ハレテ足脛重クシテ步履スルヲ甚ダナヤミテ
園ヲ窺ハザルヲ三四年ナリ余此方ヲアタヘテ小便快
利シ諸証稍退キ杖ヲ曳テ能ク歩スルヲ得タリ

枳實芍藥散

枳實

芍藥

右二味杵為散服方寸

匕日三服○心胸逆滿拘攣或腹痛モノヲ治ス○産後腹痛
ニヨシ又癰疔毒腫ニ麥粥ニテ用フベシ

枳朮湯

枳實

朮

右二味以水一盞煮取六分○

心堅大盤多小便利セザルモノヲ治ス○一病人腫滿シ
テ小便利セズ心下堅滿ス東洞先生乃此方ニ三黄丸ヲ
兼用セシメテ全効ヲ得ラレシ

排膿散

枳實

芍藥

桔梗

右三味為散取雞

子黄三分以藥散與雞黄相等揉和令相得飲和服之日一
服○腫物ヲ發シテ痛劇シ若胸腹拘攣或腸癰アリテ便膿血スル
モノヲ治ス○一切ノ腫毒久シク愈ス膿血出ルモノニ
ヨシ伯州散ヲ兼用シ時々梅肉散ニテ攻ムベシ

桂枝生薑枳實湯

桂枝

枳實

生薑

右三味

以水一盞二分煮取六分○胸下逆滿水ヲ吐出スルモノ
ヲ治ス○心痛スルニハ滾痰丸三黄丸紫圓ヲ考ヘテ兼
用スヘシ

枳實薤白桂枝湯

枳實

厚朴

薤白

桂枝

括萹實 右五味以水一盞八分先煮枳實厚朴取八分

本痺内諸茶煮取六分○胸痺之膠逆滿搶心モノヲ治ス○
胸脹滿レ或ハ上逆背ハリイタニ胸中煩燥レ夜寐ラル
ザルニヨシ滾痰丸三黄丸ヲ擇テ兼用スベシ○胸背へ
ハリ出シ骨高クナルコアリ毒ヲ除去バヒキク平ニナ
ルナリ諸病トモニ毒ノ聚ル處ハ手ニテ按セハ知レル
ナリ

橘皮枳實生薑湯 橘皮四分 生姜一分 枳實四分 右三味
以水一盞半煮取六分○胸ツカへ塞リ滿シテ嘔吐レ或
ハノヤクリ出ルニヨシ滾痰丸三黄丸紫圓ノ類ヲ兼用
スベシ

茯苓飲 茯苓 人參 朮各六分 枳實四分 橘皮五分

生姜分ハ 右六味以水二盞煮取六分○心胸ノ中ニ停痰
アリテ宿水ヲ吐レ或ハ噦レ吞酸レ或ハ心下悸レ胸滿
或ハ小便不利スルモノヲ治ス○痰飲嘔逆ニハ滾痰丸
ヲ兼用スベシ○痰涎卒ニフサガルニ用テ効アリ白散
或ハ紫圓ニテ下スベシ○一男子水ヲ吐レ或ハ嘔雜吞
酸胸背刺痛スコレヲ按セハ噦氣ヲ発シ吃々トシテ止
ス心腹水声ヲナス患ルコト年ナリ余此方ヲ用テ滾痰
丸紫圓ヲ以テコレヲ攻テ全愈○一婦人年三十六反胃
ヲ患ルコト已ニ七月腹中雷鳴シテ二便或ハ下利或ハ利
セズ面目浮腫心下悸痞レ時ニ陰戸鳴コト轉失氣ノ如シ
此方ヲアタヘテ大二効ヲ得タリ

橘皮竹茹湯

橘皮三分 竹茹二分

大棗

生姜各八分

甘草五分

人蔘三分

右六味

以水二盞煮取六分胸中痺

テ吃逆シテ心胸道逆モ多治ス滾痰丸紫圓ヲ雜テ兼用スベ

レ〇一賈人七十餘歳吃逆ヲ患ル三十日口ニ勺飲モ

通セズ諸因治スルナレ愈ザル十七七八日東洞先生往

テ診スルニ咽喉ノ肉脱シテ吃タノ声已ニ出ル尽テ唯

腹中ニ響アルバカリナリ乃橘皮竹茹湯一貼重サ十二

錢ニ作テ與ヘラル二劑ニシテ効ヲ奏ス

橘皮湯

橘皮三

生姜四

右二味以水一盞四分煮取

六分胸中痺シテ嘔噦手足厥冷ヲ治ス〇一男子熱病

ヲ患ル十日許吃逆ヲ癸レ愈ザル一晝夜已ニ死セ

トス余此方ヲ與テ治ス

桂枝茯苓丸

桂枝

茯苓

芍薬

桃仁

牡丹各等分右五味杵為末煉蜜和丸如兔屎大漏下ヲ拘

攣遠心悸シテ月經調ハズ或妊娠胎動スルニヨレ又消

石大圓或ハ夷則丸ヲ兼用スベシ

芎歸膠艾湯

芎藭

阿膠

甘草各三分

艾葉

當歸各四分芍薬六分乾地黄九分右七味以水一盞清酒一

盞合煮取六分内膠令消婦人崩漏トテ卒二血オリシ

テ目眩スルニヨレ産後大ニ血オリシ血暈シ或ハ腹

痛スルニヨレ又芎黄散ヲ兼服スベシ臨胎ノ後腹脹

煩悶シテ痛死セントスルニ數効ヲ得タリ産後ノ血

オリニハ、桃核承氣ノ條下考ベシ。或問曰、東洞先生ハ
男子婦人ノ治法異ナルヲナシト云ヘリ。此方ノ如キ、実
ニ婦人ノ血証ヲ治スルモノハ、如何余答フ、此方ヲ以テ
男子ノ吐血下血等諸血証ニ用ルニ効驗アリ、何ゾ々、
婦人ノ治方トノミイフヲ得ニヤ

旋覆花代赭石湯

旋覆花分六

人蔘分四

生姜一分

半夏一分代赭石二分

大棗

甘草各六分

右七味以水二

盞煮取一盞二分去滓再煎取六分。心下痞堅ニシテ噎
氣除カザルモノヲ治ス。○下利止ズ、嘔吐スルニヨシ。○
一男子年四十餘宿水ヲ吐スル。七八年心下痞堅ニシ
テ腹中水声アリテ止時ナク、噎氣除カス、鼻塞テ香臭ヲ

キカズ、諸医治スルヲ得ズ、余乃此方ヲ作テ飲シメテ
愈ルヲ得タリ

赤石脂禹餘糧湯

赤石脂

禹餘糧

各一分

水一盞八分煮取一分。○病毒臍下アリテ痛下利スルモ

ノヲ治ス。○久シク下利シテ膿血ヲ下スニヨシ

桃花湯

赤石脂

一分

乾姜

一分

粳米

一分

煮取六分更内赤石脂末方寸匕。○下利便膿血腹痛ムモ

ノヲ治ス

蜜煎導

蜜一味

銅器ノ中へ入レ

微火ニテ煮テ飴ノ

如クナシヨク攪テ焦着サレメズ。丸トナルベキヲ候テ

捻テ挿トナシ大サ指ノ如ク長サ二寸許ニシテ穀道ノ

中へ入ル〇肛中乾燥大便不通モノヲ治ス

酸棗仁湯 酸棗仁二匙四分 甘草一分 知母 茯苓

芍藥各二分 右五味以水一盞六分先煮酸棗仁取一盞二分

内諸茶煮取六分〇煩燥シテ眠ルヲ得ザル者ヲ治ス

葶藶大棗湯 葶藶五分 大棗三 右二味以水一盞八分

者速取一盞二分去滓内葶藶者取六分〇胸滿シテ咳逆

喘鳴迫塞ニ身面目浮腫スルモノヲ治ス

麻仁丸 麻仁十二 芍藥四 大黃 厚朴各八

枳實四 杏仁六 右六味杵末之煉蜜和為丸〇平日大

便秘スルモノヲ治ス

已椒蘆黃丸 防已 椒目 葶藶 大黃各一

右四味末之蜜丸如梧子大服一丸日三服〇腹滿シテ口

舌乾燥シテ二便不通スルモノヲ治ス〇一婦人年五十

許數年腰中冷テ小便頻數ス後腰脚痛テ起居スルヲ

得ス腹滿大便秘閉口舌乾燥手足浮腫氣急塞迫シテ已

二絶名ントス余此方ヲ作テアタヘ諸症全ク愈テ歩履ス

ルヲ得タリ

蜀漆散 蜀漆 雲母 龍骨各等分 右三味杵為末未

發前以漿水服半錢〇惡寒劇ク熱少クシテ臍下動アル

モノヲ治ス 漿ハ酢ナリ飯ノ熱キヲ冷水ノ中ニ投シ五

十棗湯 芫花 甘遂 大戟各等分 右三味各別搗為

散以水一盞煮大棗十枚取六分去滓内茶末一錢頓服〇

心下痞^ヒテ^ヒ鞭滿^ヒ咳煩^ヒ掣^ヒ痛^ヒスルモノヲ治ス○肩背重ク引
ツリタルク痛ニヨレ○中風^ヒ痿^ヒ躄^ヒ痛風脚氣水病ニヨレ
或ハ手肘冷テカナク或ハ不仁^フ或ハ麻痺スルニ宜レ○
咳^ヒ嗽^ヒレテ脇下ヘヒツキヒツバリ痛ニヨレ

桔梗白散

桔梗

貝母

各三分

巴豆一分

右三味為末以

白飲和服○病毒胸ニアリテ或ハ膿汁ヲ吐レ咽喉痛痰
フサガリ急ニセリツメ息スルナラザルニヨレ○中
風卒倒^{ソウ}レテ痰涎フサガリ氣絶^キセトスルニ牙^ハ関^ク緊^キ急^キ
セバ鼻ヨリ吹^キ入ルベレ○肺癰^ハトテ胸中ニ毒腫ヲ生レ
膿ヲ吐スルニヨレ肺癰外ヨリ見ルベカラズ唯膿汁ヲ
吐レ胸痛スルモノヲ以テ徵^シトスベレ實ハ肺癰腸癰ト

名ヲ云フニハ及バサルナリ○一男子冬^ノ胎^ヲ喘急ヲ發シ
咽ヘ痰セマリ肩息^カレテ歎セントスルニ此方一錢ヲア
タヘテ痰涎二三合ヲ吐レテ愈タリ○一婦人小瘡ヲ病
テ敷^フ茶^チシテ後^ノ忽^ト然^トトシテ遍身腫ヲ發シ小便不利^シ心
胸煩悶^ノレテ喘鳴^シ迫塞^シレテ幾^トド死セントス余此方一錢
ヲアタヘテ水數升ヲ吐ス再飲^シレテ大ニ吐下^シテ疾苦
立^ニ安^シ前^方ヲ用ル^ル五六日ニレテ全愈○一男子咽
喉腫痛言語スル^ルアタハズ湯水下ラズ痰咳アリテ痛
忍^ベカラズ余此方一撮ヲ飲^シメ稠痰數升ヲ吐テ痛忽
ニ愈テ後排膿湯ヲ用テ全愈○一小兒三歲^ノ疳^ヲ謂^フ驚風ヲ
發^シ愈ザル^ル半日^ニ醫^シ茶^並ニ治スル^ルヲ得ズ余此方ヲ

アタヘテ咽ニ下レハ痰沫ヲ吐出し啼聲ヲ発ス已後此
證ニアヘハ効ヲ得ルヲ擧テ數ヘカタシ

走馬湯 杏仁 巴豆各二枚右二味以綿纏搥令碎熱湯

六分捻取白汁飲之○胸中煩悶シテ或ハ心痛或ハ腹脹
痛スルモノヲ治ス○僧天然ナルモノアリ余ガ方外ノ
友ナリ我東洞翁ノ術ヲ信ジテコレヲ學ビ施治スル
多年嘗テ其試効スル所ヲ録シテ余ニ遺ル今此ニ附
テ参考ニ備フ

治眼疾方 備急圓桔梗白散走馬湯此三方治內障

外障及諸眼疾者點之或浸沸湯洗之亦佳

蛇牀子散 點眼中生小瘡痛甚者有効

礬石湯 滑礬散 礬石丸 白虎湯 梔子蘘皮湯 文蛤散 文蛤
湯 大黃硝石湯 大黃黃連瀉心湯 瀉心湯 附子瀉心湯 薏
苡附子散 薏苡附子散 漿散 大黃附子湯 麻黃附子細辛
湯 大烏頭煎 八味丸 赤丸 天雄散 茵陳蒿湯 梔子乾姜湯
大陷胸湯 半夏乾姜散 甘草乾姜湯 甘草粉蜜湯 甘草湯
右二十六方主治眼目赤痛出淚羞明○目赤瀉痛○
赤目赤肉高起痛不可忍○赤目弩肉頭風○目睛暴
痛○目中赤脈○目痛皆爛腫赤○赤爛眼搥○眼
臉赤腫○風眼腫痛者或點之或洗又隨症服之佳也
備急圓 大黃 巴豆 乾姜各一兩 右三味杵末蜜和
丸○食傷或ハ霍乱心腹急痛スルニヨシ一切急迫ノ毒

ヲ解ス

僧天然曰。備急圓桔梗白散。走馬湯之三方。治癰疔疥癬。癩風。諸腫毒。諸惡瘡。痛痒。或蛇蜂蜈蚣。蚊蚋鼠猫犬狼。及諸毒蟲魚獸。傷敷之。擦之。而後宜服之。又牛馬之諸疾。與之可。一服自三錢六錢。至八九錢。十錢。二十錢許。

礬石湯

礬石_二兩

右一味。以漿水一斗五升。煮三五沸。浸

脚良。○所謂脚氣ノ症。痿弱ニシテ不仁。或ハ毒氣上テ心ヲ衝モノヲ治ス。○脚氣腫滿ノ類。或ハ脚痛中風痛風。或ハ腰痛ノ類。並ニ此湯ニテ脚ヲ洗ヒ浸シ。或ハ腰湯ヲサスベシ。猶東洞先生浴湯ノ方アリ。僧天然曰。礬石湯。礬石丸。消礬散之三方。擦腋。臭必有功。

礬石丸

礬石_三分

杏仁_一分

右二味。末之。煉蜜和丸。棗核

大_二内_レ藏_中。○經水利セス。赤白帶下ニヨロシ

蛇牀子散

蛇牀子

右一味。末之。以白粉少許和令相

得如_二棗_一。大綿裹内之。自然温。○白物ヲ下シテ陰中痒久。或ハ小瘡ヲ生ズルモノヲ治ス

僧天然曰。治陰囊湿痒。或諸腫諸瘡腐爛。痛痒甚者。宜擦患處。

古方便覽下冊終

附録腹候圖

東洞先生門人一教ルニ、^{多カク}腹候ヲ以テ先トシ次ニ^{外候}外候ヲ
 参考シテ其方ヲ處セシム。夫病之有本猶草木之有根也。
 去葉不去根草木猶在也。故ニ腹ヲ診視シテ病毒ノ所在
 ヲ^{ツレニカ}審ニシ。茶石以攻之則疾トシテ不愈ナシ。譬バ此ニ
 病者アリテ外證ハ異ナレ氏腹證同キ寸ハ同方ヲ處ス。
 又外證同トイヘ氏腹證異ナル寸ハ處方ヲ異ニス。千態
 萬狀唯腹候ヲ^{レヨウ}準據トシテ治ヲ施ス。故ニ腹候ニ明ナラ
 ズシテ疾病ヲ治センコトヲ求ルハ猶廢規矩繩墨而成方
 圓曲直也。其不能也必矣。今先師ノ遺法ヲ述テ此圖ヲ著
 ス。其機變妙用惟習之至熟自當心手相應無案圖求驥云

胃脇苦満腹中も動圖



古今圖書集成

醫部全錄

心下
痞鞭圖



胸脇
苦滿圖



心下
鞭滿
圖



心下
悸
瘧
鞭
拘
攣
圖



腹皮起
如有
頭足固



心十針亦如
淋瀝圖

胃脇大滿
而拘急圖



心下痞
鞭拘急
圖



裏急腹皮
拘急圖



腹堅滿圖



肌膚枯
燥有燥屎
圖



古今圖書集成

卷一百一十五

醫部全錄

五

結胸圖

心下
軟氣
脈
結



自心下至

小腹鞭滿圖



小腹滿
如敦狀圖



小腹
急結圖

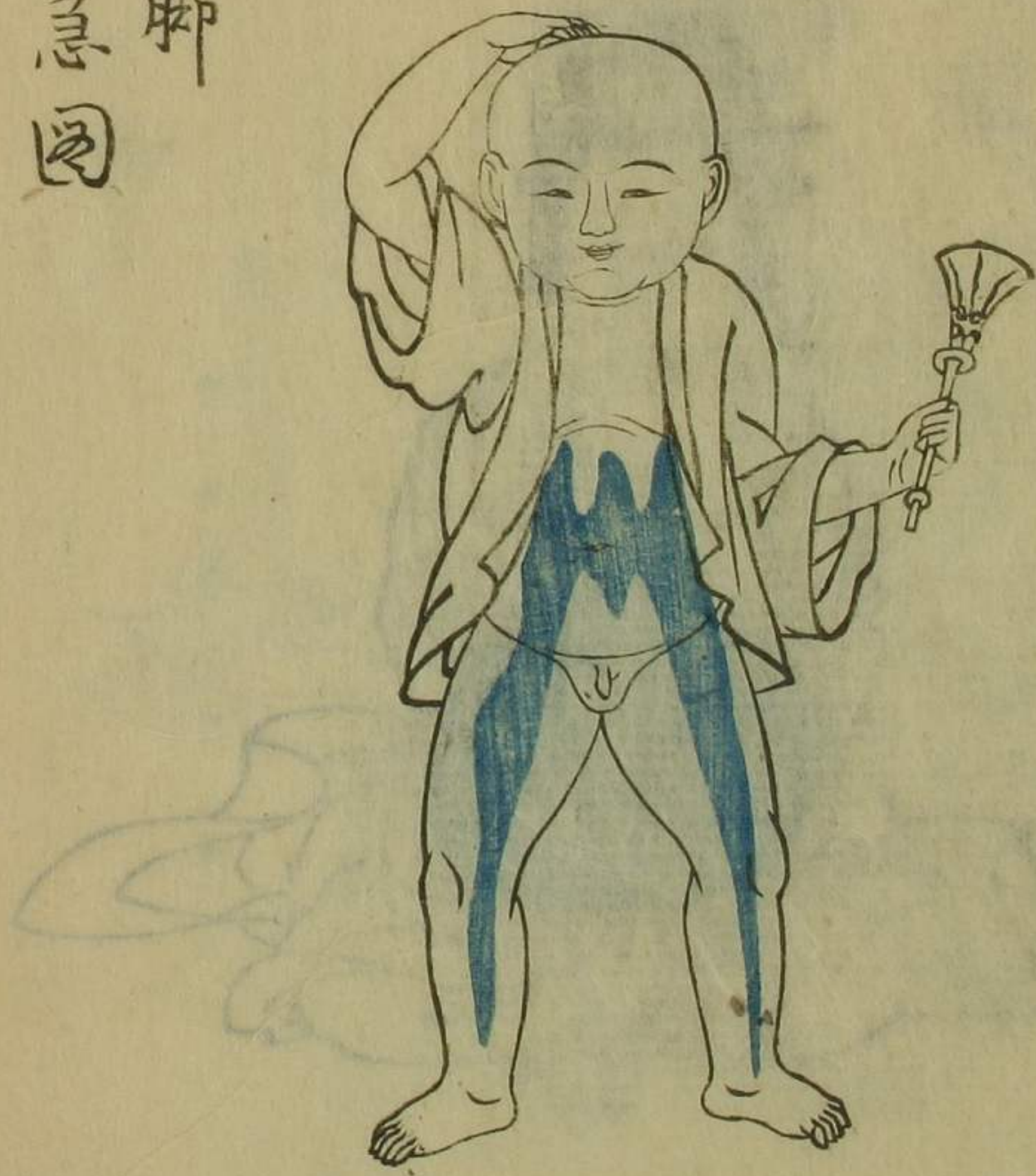


小腹
自心不遂

小頭瘰癧圖



腹中及脚
孿急圖



六角重任業を東洞翁に
受く方法は精妙の頃
年坂府に住して屢起瘰癧
瘰癧の段を稱せしは平居試
効する所の実哉筆記して徒
弟に授く言文なるは次國二字を

以て志すや此の準據約要
其旨餘何は是青囊亦とあ
らざるも左右と備へて
甚と益あり故と鑄布し
騰寫此書と代しむ

紹興

天明二年壬寅九月刻成
文化三年丙寅春二刻再板
嘉永三年庚戌秋三刻再板

浪華書肆

上町南草屋町

炭 屋五郎兵衛

心齋橋通北久太郎町

河内屋喜兵衛

